

令和3年10月15日

東北運輸局 秋田運輸支局

大型車のホイール・ボルトの点検を実施します。

～ 大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン実施中 ～

近年、大型車の車輪脱落事故が全国で増加傾向にあり、東北地方に発生件数が集中している状況です。秋田県では、昨年度に5件の脱落事故が発生しており、特に冬タイヤの交換時期となる10月から増える傾向にあります。

このため、秋田運輸支局及び、独立行政法人自動車技術総合機構東北検査部秋田事務所は、本年9月から開始した「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」の一環として、一般社団法人秋田県自動車整備振興会及び、秋田県警察のご協力のもと、以下のとおり大型車の運転者への指導・啓発を目的とした大型車のホイール・ボルトの取付け状況を確認する街頭点検を実施します。

【お知らせ】街頭点検は、雨天により中止となりました。

日 時： 令和3年10月20日(水) 13:30～15:30 (予定)

～(※13:20から事前の打合わせを行います。～

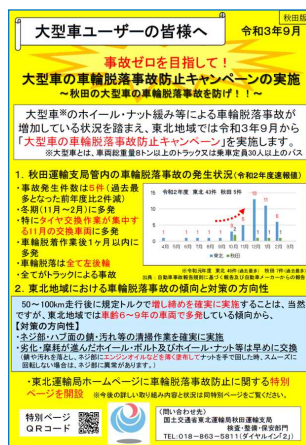
場 所： 国道7号線沿い「無料駐車場(もしもしピット)」
(由利本荘市芦川付近)

(注意) 雨天の際は中止する場合がありますので、雨天による街頭点検の中止に関しては、下記の「お問合せ先」まで、ご確認をお願いします。

※ 実施判断は、当日(10月20日水曜日、9:30)に行います。



大型車の車輪脱落の防止等を目的とした街頭点検の様子(イメージ)



秋田運輸支局作成の「車輪脱落事故防止チラシ」

【お問合せ先】

秋田運輸支局 検査整備保安部門 服部、細川

電話：018-863-5811 (音声案内後2)

大型車ユーザーの皆様へ

令和3年9月

事故ゼロを目指して！

大型車の車輪脱落事故防止キャンペーンの実施

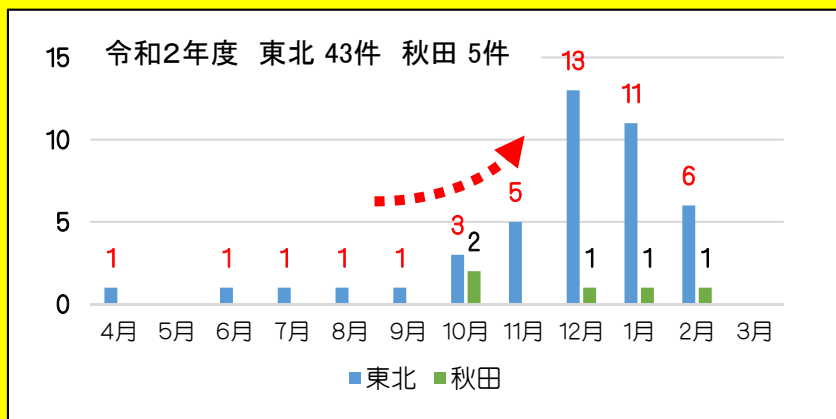
～秋田の大型車の車輪脱落事故を防げ！！～

大型車※のホイール・ナット緩み等による車輪脱落事故が増加している状況を踏まえ、東北地域では令和3年9月から「**大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン**」を実施します。

※大型車とは、車両総重量8トン以上のトラック又は乗車定員30人以上のバス

1. 秋田運輸支局管内の車輪脱落事故の発生状況(令和2年度速報値)

- ・事故発生件数は**5件**(過去最多となった前年度比2件減)
- ・冬期(11月～2月)に多発
- ・特に**タイヤ交換作業が集中する11月の交換車両**に多発
- ・車輪脱着作業後1ヶ月以内に多発
- ・車輪脱落は**全て左後輪**
- ・全てが**トラック**による事故



※令和元年度 東北 48件(過去最多) 秋田 7件(過去最多)

出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

2. 東北地域における車輪脱落事故の傾向と対策の方向性

50～100km走行後に規定トルクで**増し締めを確実に実施**することは、当然ですが、東北地域では**車齢6～9年の車両**で多発している傾向から、

【対策の方向性】

- ・ネジ部・ハブ面の錆・汚れ等の清掃作業を確実に実施
- ・劣化・摩耗が進んだホイール・ボルト及びホイール・ナット等は早めに交換
(錆や汚れを落とし、ネジ部に**エンジンオイル**などを**薄く塗布**してナットを手で回した時、スムーズに回転しない場合は、ネジ部に異常があります。)

・東北運輸局ホームページに車輪脱落事故防止に関する**特別ページ**を開設 ※今後の詳しい取り組み内容と状況は同特別ページをご覧ください。

特別ページ
QRコード



〈問い合わせ先〉

国土交通省東北運輸局秋田運輸支局

検査・整備・保安部門

TEL:018-863-5811(ダイヤルイン「2」)

正しい作業が、防ぐ事故。

徹底しよう! 車輪脱落を防ぐ、4つのルール

お きまりのトルクで
きちんと 締め付けて



規定のトルクで確実な締め付けを

ち ゃんと増し締め
交換後



50~100km走行後に、しっかり増し締めを

な (ナット)
っと見て ボルト触って
さあ出発!



一日一回の日常点検を

い や待てよ? ボルトと
ナットは適正か?



ホイールに適合したボルト、ナットを



左後輪に注意!

車輪脱落の多くが、気がつきにくい「左後輪」で発生しています。左後輪の点検は重点的に行ってください。



ホイールやホイールボルトの錆に注意!

ホイールやホイールボルト、ナットの著しい錆によると思われる車輪脱落が発生しています。著しい錆のあるホイールやホイールボルト、ナットは、交換してください。

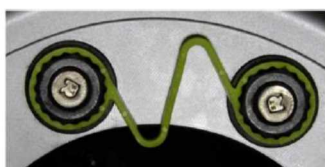


《令和3年3月「自動車の点検及び整備に関する手引き」改正》

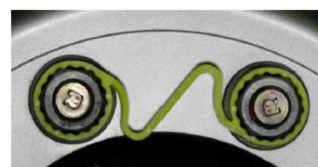
ホイールナットマーカ等を活用した新たな点検方法や車齢4年以上の車両に車輪脱落事故が多く発生していることを踏まえ、ホイール・ボルト及びホイール・ナットの交換目安等が規定されました。



ホイール・ナットへのマーキング例



緩みなしの状態



左右のホイール・ナットが緩んだ状態

ホイールナットマーカの装着例

(ホイール・ナット回転指示インジケーター (ISO方式) 装着の場合)